

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

別添資料11

公表: 2024年 3月 1日

事業所名 発達支援ルーム ピースプラント 保護者等数(児童数) 63 回収数 48 割合 76 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	47	1			天井が低い。	安全に配慮してスペースを確保する。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	48				毎回しっかりと向き合ってくれる。保護者の意見を取り入れてくれる。	研修や職員間の情報の共有を通してより良い療育を行う。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	47	1			絵カードなど視覚支援などの設備も完備している。移動手段は階段とエレベーターがあり、必要な方には介助をしている。	個別療育の為、利用児童に合わせた関わりを行っていきたい。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	48				支援計画やモニタリングなど半年に一度以上、説明を受けている。	保護者の方と情報共有を行い、支援計画とモニタリングを作成している。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	48				活動内容が子どもに沿った内容になっている。	個々に合わせた活動を考案し、マンネリ化しないようにする。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか					サービスなし。	交流を行っていないが、検討していききたい。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	46	2			その都度に説明を受けている。	支援計画やモニタリング等保護者の方に理解してもらえるようにお伝えしている。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	46	2			毎回活動後に情報共有を行っている。	保護者や職員間の情報の共有を徹底して行い、保護者とのズレが無いようにする
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	46	2			療育前後で職員と情報交換をしている。	必要に応じて機会を設けられるようにしていく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	47	1			定期的に母の会を実施している。	勉強会の機会を増やせるよう、検討してきた。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	47	1			店舗のリーダーが主に対応されている。	苦情については、直ちに保護者の方に説明を行い、適切な対応を行っている。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	44	4			療育前後で保護者と職員で情報交換できる機会がある。	日々の療育のフィードバック等で保護者の方と情報共有をしている。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	46	2			ホームページや事業所内掲示により掲載されている。	保護者の方に分かりやすいようにしていく。
14 個人情報に十分注意しているか	46	2			ご意見無し。	今後も個人情報の扱いには十分注意していききたい。	
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	46	2			避難経路図が保護者席から見える位置に配置してある。	今後も定期的に説明を行っていく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	46	2			避難訓練に参加したことがありますが、迅速な対応でした。	今後も職員の意識を引き上げていきたい。

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	47	1		日により気持ちの浮き沈みが激しいため一概に言えない。	今後も子ども達が楽しめるように提供していきたい。
	18	事業所の支援に満足しているか	46	2		予約が取れないことが多く不満。	日々のフィードバック等で保護者の方に不安や支援方法へのズレが無いように努めていく。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

別添資料11

公表: 2023年 3月 1日

事業所名 発達支援ルームピースプラント3くみ 保護者等数(児童数)115 回収数 80 割合 70 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	80				小学校高学年になるとスペース的に2人療育は難しい。隣に対してヒヤットすることがあった。	安全に配慮してスペースを確保する。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	77		3		男性職員が減った。	研修や職員間の情報の共有を通してより良い療育を行う。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	80				エレベーターがない。	エレベーターはないが、必要な方には介助したり安全な方法で来所していただけるように配慮している。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	80				支援計画やモニタリングなど半年に一度以上、説明を受けている。	保護者の方と情報共有を行い、支援計画とモニタリングを作成している。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	80		3		活動内容が子どもに沿った内容になっている。	個々に合わせた活動を考案し、マンネリ化しないようにする。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか					サービスなし。	交流を行っていないが、検討していきたい。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	80				その都度に説明を受けている。	支援計画やモニタリング等保護者の方に理解してもらえるようにお伝えしている。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	79		1		情報の共有が出来ていないと感じる。	保護者や職員間の情報の共有を徹底して行い、保護者とのズレが無いようにする
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	80				療育前後で職員と情報交換をしている。	必要に応じて機会を設けられるようにしていく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	80				保護者同士で情報の共有をすることができた。次回も参加したい。	今後も継続して保護者同士の連携・交流を支援していく。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80				店舗のリーダーが主に対応されている。	苦情については、直ちに保護者の方に説明を行い、適切な対応を行っている。
12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	80				療育前後で保護者と職員で情報交換できる機会がある。	日々の療育のフィードバック等で保護者の方と情報共有をしている。	

	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	80				ホームページや事業所内掲示により掲載されている。	保護者の方に分かりやすいようにしていく。
	14	個人情報に十分注意しているか	80				ご意見無し。	今後も個人情報の扱いには十分注意していきたい。
非常災害の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	80				避難経路図が保護者席から見える位置に配置してある。	今後も定期的に説明を行っていく。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	80				避難訓練に参加したことがあります、迅速な対応でした。	今後も職員の意識を引き上げていきたい。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	72	8			日により気持ちの浮き沈みが激しいため一概に言えない。	今後も子ども達が楽しめるように提供していきたい。
	18	事業所の支援に満足しているか	75	5			予約が取れないことが多く不満。	日々のフィードバック等で保護者の方に不安や支援方法へのズレが無いように努めていく。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。